

会 議 録

会議の名称	長期計画起草委員会（第2回）地域と経済		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	平成27年5月19日（火）午後2時～午後4時		
開催場所	西庁舎 第5会議室		
出席者 （4人）	リーダー	今井 啓一郎	委員
	副リーダー	中村 裕子	委員
		渡邊 嘉二郎	委員
		河野 律子	委員
欠席者	なし		
事務局	企画政策課長	水落 俊也	
	企画政策課長補佐	中田 陽介	
	企画政策課係長	廣田 豊之	
	企画政策課主任	工藤 真矢	
	有限責任監査法人トーマツ	堀井 敬太	
傍聴の可否	㊦	一部不可	不可
傍聴者数	0人		

【会議次第】

- 1 市民懇談会の実施概要について
- 2 後期基本計画（素案）について
- 3 その他

【会議結果】

- 1 市民懇談会の実施概要について《起草資料No.4》

○事務局から説明

- ・市民懇談会のイベント名称についてご意見をいただきたい。
- ・「こがねいまちづくりカフェ」という名称を仮につけているが、他に意見があればお願いしたい。
- ・各起草委員会でご意見をお伺いし、最終的に多数決で決定したい。
- ・なお、市報や通知の関係で日程がないため、メールにて、5月21日に決定したい。

○主な意見

- ・“カフェ”というと、コーヒーやお茶がでるのかと思われてしまうのでは。
 - ・～こがねいについて気軽にお話ししませんか～などの副題を入れてはどうか。
- ⇒追加検討する。（事務局）

○事務局から説明

- ・募集方法・人数について、貫井北センターの会場の広さから50名を定員と考えている。
- ・前回、サイレントマジョリティ等多様な市民の声を聴く機会とするため、無作為に抽出した市民に参加案内を送ることについて了解いただいた。
- ・無作為抽出は、予算等について整理し、1,000名としたい。
- ・1,000名の内訳は、前回、高校生くらいなど若い人から意見を聴くことも重要との意見があったため、16歳から39歳まで500人、40歳以上500人、無作為抽出することによいか。
- ・それぞれの定員（一般公募25名、無作為抽出25名）より、応募が多かった場合は、抽選としたい。
- ・なお、案内状には、同伴者1人まで可として、より参加しやすい環境にしたい。

【決定事項】事務局案で了承

- ・無作為抽出1,000名に送る。
- ・その内訳は、16歳～39歳500名、40歳以上500名とする。
- ・定員50名（一般公募、無作為抽出）とする。

2 後期基本計画（素案）について《起草資料No.5、No.6》

○事務局から説明

- ・前は現況と課題、施策の方向性を議論した。
- ・今回は、ひととおり、前回の振り返りをしていただき、5月25日第3回審議会で、各起草委員会の報告資料として配付することとしたい。
- ・その際、各リーダーには、5分程度で簡単に説明いただき、審議会全体で、意見の共有を図れればと考えている。
- ・起草委員会以外の方のご意見もお伺いすることを考えている。

○市の素案を基に、各施策の「現況と課題」、「施策の方向性」の振り返り及び施策20～施策27までの「主な取組」について議論をした。

- ・意見内容については別紙のとおり。

3 その他

○次回の開催日程を確認した。

【決定事項】

次回 平成27年6月10日（水）14時～ 西庁舎 第5会議室

～以上で会議終了～

第1回2回起草委員会 意見メモ 地域と経済

施策番号： 20 施策名： 協働のまちづくりの推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	他のグループの団体同士が実際に顔をあわせるような交流の場が必要ではないか。商店会について、他のグループとのネットワークに幅広く加えた方がいいのではないかと（施策分野共通事項）。	
1	施策の現況と課題	協働の理念がわかりにくい。発案者は市民で、行政はそのサポートをすることが協働ではないか。参加者の主体性を大事にすることなどにも触れてはどうか。	
1	施策の現況と課題	交流という表現より「ふれあい」など、やわらかい表現ではどうだろうか。	
5	進めていく主な取組	市報などの内容を充実させ、新しい情報端末やネットワークにあわせた対応にするなどPRの方法を工夫して、各世代に対応した周知を図るべきである（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主な取組	退職後の方などを対象として、「だれか人のために何かやる喜び」に応える企画を考える。 例えば、得意分野に応じて観光大使、とき大使、小金井グルメ大使など種々の小金井大使を任命して、自主的に企画・参加してもらい、小金井を宣伝してもらうことはどうか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主な取組	他のグループの団体同士が実際に顔をあわせるような交流の場が必要ではないか。商店会について、他のグループとのネットワークに幅広く加えた方がいいのではないかと（施策分野共通事項）。	再掲
5	進めていく主な取組	集会施設の充実とは、ハード面の充実のように見えるが、ソフト面も必要ではないか。	取組①
5	進めていく主な取組	「協働に関する正しい理解」→「協働に関する理解」でよいのではないかと。	取組②
5	進めていく主な取組	情報共有化を推進します→情報共有化のための仕組み（システム）を作ります。	取組③
5	進めていく主な取組	「対等の原則」という言葉は誤解を与えるのではないだろうか。	取組③
5	進めていく主な取組	「協働推進に向けた～しくみを効果的に構築するために、評価システムを構築します。」のように、目的を先に記載し、最後に手段を記載してはどうか。	取組③

施策番号： 21 施策名： 地域情報ネットワークの推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	他のグループの団体同士が実際に顔をあわせるような交流の場が必要ではないか。商店会について、他のグループとのネットワークに幅広く加えた方がいいのではないかな（施策分野共通事項）。	
3	施策の方向性	「人々のきづなや地域の連携のための基盤づくり」という部分は目的のため、文章の先頭にもってきてはどうか。	
5	進めていく主な取組	市報などの内容を充実させ、新しい情報端末やネットワークにあわせた対応にするなどPRの方法を工夫して、各世代に対応した周知を図るべきである（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主な取組	退職後の方などを対象として、「だれか人のために何かやる喜び」に応える企画を考える。 例えば、得意分野に応じて観光大使、とき大使、小金井グルメ大使など種々の小金井大使を任命して、自主的に企画・参加してもらい、小金井を宣伝してもらうことはどうか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主な取組	他のグループの団体同士が実際に顔をあわせるような交流の場が必要ではないか。商店会について、他のグループとのネットワークに幅広く加えた方がいいのではないかな（施策分野共通事項）。	再掲

施策番号： 22 施策名： 危機管理体制の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「放射能に関する測定」の意味がわからない。	
5	進めていく主な取組	「防災コミュニティづくり」と本施策での行政の連携を図るような記載にしてはどうか。	

施策番号： 23 施策名： 防災コミュニティづくり

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	課題として「また、結成されている……」以降の内容がより重要であり、強調すべきではないか。	
1	施策の現況と課題	防災コミュニティ形成の対象が町内会や自治会が対象となっているが、商店会なども幅広く対象に入れた体制（備蓄、防災倉庫）を構築すべきではないか。	
5	進めていく主な取組	防災コミュニティ形成の対象が町内会や自治会が対象となっているが、商店会なども幅広く対象に入れた体制（備蓄、防災倉庫）を構築すべきではないか。	再掲
5	進めていく主な取組	既存の自主防災組織とほかの組織とのマッチングをしてくれるような取組を検討できないか。	取組②
5	進めていく主な取組	町会・自治会対象に限定した事業や補助だけでなく、商店会も参加できるような事業展開を検討できないか。	取組②

施策番号： 24 施策名： 防災機能の強化

該当箇所		意見内容	備考
5	進めていく主な取組	大地震等の災害の際、市役所機能が継続することが重要である。自家発電など市民が安心する方針を記載できないだろうか。	

施策番号： 25 施策名： 防犯体制の強化

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「こきんちゃんあいさつ運動」がよい活動であるため、より強力に推進してほしい。 地域でもお互いに顔が見えることが重要であり、「こきんちゃんあいさつ運動」を発展させ、学校外でも推進できる体制を構築すべきである。それには商店会の役割が重要であるが、防犯体制に含まれていないことが問題であり、商店会を幅広く活用する体制を構築すべきではないか。	
1	施策の現況と課題	防犯の観点では、空き家対策が重要である。	
5	進めていく主な取組	「こきんちゃんあいさつ運動」がよい活動であるため、より強力に推進してほしい。 地域でもお互いに顔が見えることが重要であり、「こきんちゃんあいさつ運動」を発展させ、学校外でも推進できる体制を構築すべきである。それには商店会の役割が重要であるが、防犯体制に含まれていないことが問題であり、商店会を幅広く活用する体制を構築すべきではないか。	再掲
5	進めていく主な取組	防犯の観点では、空き家対策が重要である。	再掲
5	進めていく主な取組	防犯カメラについて触れられていないが、具体的な方針等はないか。	取組②

施策番号： 26 施策名： 産業基盤の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	市の財政状況が厳しいなかで、金はないがアイデアを出して振興を図るというニュアンスに変えられないか。	
5	進めていく主な取組	創業的産業の観点から二次創業の支援ができないものか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主な取組	小金井をベースに置いた価値創生のトレーニングを行いながら実際の企画を提案していく試みとして、新たな価値を創造するためのミーティングを行うのはどうか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主な取組	各種アイデアを募り、小金井の新たな物産・サービスを生み出すことを行うのはどうか（施策分野共通事項）。	

施策番号： 27 施策名： 創造的産業の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	家賃補助の成果や効果の部分までも触れてはどうか。	

5	進めていく主 な取組	小金井をベースに置いた価値創生のトレーニングを行いながら実際の企画を提案していく試みとして、新たな価値を創造するためのミーティングを行うのはどうか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主 な取組	各種アイデアを募り、小金井の新たな物産・サービスを生み出すことを行うのはどうか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主 な取組	産学官の「協働」という表現でよいのか。「連携」のようなことばのほうがふさわしいのではないのか（市民協働の協働の概念と混同してしまう）。	取組②

施策番号： 28 施策名： 商業環境の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	産業振興プランを反映させた内容にしてほしい。	
1	施策の現況と課題	市としての各地域の商業環境の整備に関する方向性を示してほしい。 市民目線として、駅前の商業環境だけでなく、各地域の商店街も重要であることを再認識している。	
1	施策の現況と課題	商業調査や市民から広く意見聴取を実施し、その結果を商店会にも還元してほしい。	
2	施策の方向性	産業振興プランを反映させた内容にしてほしい。	再掲
2	施策の方向性	市としての各地域の商業環境の整備に関する方向性を示してほしい。 市民目線として、駅前の商業環境だけでなく、各地域の商店街も重要であることを再認識している。	再掲
5	進めていく主 な取組	行政としては結果に対する対策を講じる旨の記載を追加してほしい。	
5	進めていく主 な取組	市としての各地域の商業環境の整備に関する方向性を示してほしい。 市民目線として、駅前の商業環境だけでなく、各地域の商店街も重要であることを再認識している。	再掲
5	進めていく主 な取組	農業と観光の連携を推進していくことが必要ではないか（施策番号32と共通事項）。	

施策番号： 29 施策名： 地域資源をいかした観光の推進

該当箇所		意見内容	備考
5	進めていく主 な取組	他者からの意見聴取・アンケートなど実施し、小金井再発見を推進していくことを追加してほしい。	
5	進めていく主 な取組	経済に関連する役所機能と各団体との連携強化が必要ではないか（施策分野共通事項）。	
5	進めていく主 な取組	農業と観光の連携を推進していくことが必要ではないか（施策番号32と共通事項）。	

施策番号： 30 施策名： 工業の振興

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	小金井らしい工業（例：企画開発設計、デザインや精密機器など）について、一から見直した方がいいのではないか。	
2	施策の方向性	施策の方向性に記載のとおり「産学官連携の取組や、関係団体との連携」が重要である。	
2	施策の方向性	小金井らしい工業（例：企画開発設計、デザインや精密機器など）について、一から見直した方がいいのではないか。	再掲
5	進めていく主な取組	新たな価値を創造し、小金井の新たな物産を生み出し、その製造を市内で行うことを推進することを考慮してはどうか。	

施策番号： 31 施策名： 農業基盤の確立

該当箇所		意見内容	備考
5	進めていく主な取組	農産物を活かした付加価値をつけた農産物や加工物を開発推進すべきではないか。6次産業化など創造的な農業の推進が必要である。	

施策番号： 32 施策名： 農業との交流推進

該当箇所		意見内容	備考
5	進めていく主な取組	農業と観光の連携を推進していくことが必要ではないか（施策番号29と共通事項）。	

施策番号： 33 施策名： 安全安心な消費生活支援

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 34 施策名： 勤労者福祉の向上

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 35 施策名： 雇用機会の拡大

該当箇所		意見内容	備考
5	進めていく主な取組	職業訓練よりも敷居の低いサラリーマン土曜講座（創造的トレーニング、退職後のための準備など）を実施してはどうか。	